

たんぼ新聞

ちえのわ
田んぼ係

しゅうかく あき 収穫の秋がやってきた!

稲刈りをしよう!

秋雨がしとしと降り続き、だんだんと寒さを感じる季節となりました。たんぼの稲の稲穂はたわわに実り、いよいよ収穫の時期を迎えています。10月は、たんぼで稲刈りをします。稲刈りとは、その名の通り、たんぼで成熟した稲を収穫するため、根元から切り取る作業のことです。

稲刈りには、のこぎり鎌という道具を使います。この鎌は刃先がのこぎりのようにギザギザで、稲の茎が切りやすくなっています。鎌は刃物ですから、気を付けて扱きましょう。では、ここの稲刈りのやり方を説明します。



- ～稲刈りのやり方～
- ①まず、利き手で鎌を持ちます。そして、反対の手で稲を持ちます。
〈注意!〉
稲を持つときは、逆手(親指と人差し指が根元側、小指が稲穂側)にします。怪我をしないようにするためです。
 - ②稲の土から15cmくらい上の部分に鎌の刃を当て、刃を稲に沿わせるようにして刈ります。
 - ③稲を3～4株刈ったら、それを1つの束にして、麻ヒモでしばります。
 - ④③で束ねた稲を掛け干して終わりです。

11月のたんぼ
は、今月刈り取った稲から籾を外す脱穀をし、最後に唐箕にかけて、最後に精米をして、つきあがり米がでます!